

## 令和3年度 第2回沼田市市民構想会議の概要について

1 日 時 令和3年8月19日（木）午後2時から午後4時

2 場 所 沼田市役所 防災会議室401（テラス沼田4階）

### 3 出席者

(1) 委員 栗原明男委員、池田進一委員、青木富士夫委員、小林昭紀委員、  
田村博史委員、小野里順子委員、高橋秀幸委員、小林美幸委員、  
小林彰幸委員、阿部健委員、山田龍之介委員、坂井隆委員、  
田辺祐己委員、松井孝夫委員 (14名)

(2) アドバイザー 新型コロナウイルスの感染拡大による  
緊急事態宣言中のため欠席

(3) 沼田市 五十嵐副市長、諸田総務部長  
(事務局：星野企画政策課長、生方課長補佐兼政策推進係長)

### 4 配付資料

・次第

### 5 概 要

(1) 開 会 (事務局：企画政策課長)

(2) 会長あいさつ田村会長

D X について先生から講義をいただき、D X を知ることから始め、その後ご  
質問やご意見を伺っていきたい。

(3) 前回の会議結果について 【事務局から説明】

(4) 専門家によるD X 講義

「“沼田って便利な街だね” D X 取組みのご提案」

株式会社フィネット 代表取締役 田村吉章氏

- ・沼田市では沼田都市計画マスタープランを作っており 132 ページに及ぶ  
もので沼田市の実情を赤裸々にかかれています。その中にある「専門的な知  
識やアイデア、資本力を有する企業などの民間活力導入」のひとつとして  
提案を聞いて欲しい
- ・沼田市の人口減の状況再確認

20年後2040年は34,000人になる 生産年齢人口16,000人まで減る。

コロナによって婚姻が遅れたり出産を控えたりするため、想定よりも早く人口減となる。利根沼田は群馬県の中でも減少スピードが激しい。

生まれてくる子どもは減少、高齢者が増加、働き手も減る。

#### 【行政の問題】

人口減＝税金が減る＝公共サービスが低下

周辺地域の道路や老朽化した水道設備を補修できなくなる。

社会保障費の増加、自治会が機能しなくなり防災力低下。

#### 【商店の課題】

お客さんが来ない。働き手が減少。

→今と同じ商売や暮らし方をしていたのでは立ち行かなくなる。

今から自分たちが変わらなければ若い人から沼田を離れてしまう。

#### 【提案】若者が「沼田って便利な街だね」と思える街にする。

- ・売上高増加より経費削減。経常利益を保つ取り組みを考える。

ここにデジタルの力を投入する。

キャッシュレスで経費削減と便利な街づくり

- ・個人からみたキャッシュレスの良さ

財布を持たなくてよくなる。スマホで集金や送金で完了。

- ・商店、行政からみたキャッシュレスの良さ

現金がなくなると、受取間違いがなくなる。コロナ禍で現金をさわらなくてよくなる。お釣りを銀行に行って用意しなくても良い。税金の徴収や学校集金が簡単になる。

デメリットは日銭が入らない。入金までに1週間から10日かかる（電子マネー）クレジットは翌月

- ・電子マネーJ-Coin Payを例にキャッシュレス生活を紹介

みずほ銀行が運営しているスマホで使えるアプリ。現金をなくすことによりATMが減らせる。銀行口座に紐付いているので銀行口座に戻せる。送金や請求もできる。

- ・モバイル地域商品券（紙の地域振興券を電子チケットとするサービス）紙では総予算に対して事務コストがかかり過ぎる。電子マネーであれば経費削減となり、より市民に還元できる。

- ・請求書にバーコードをつければ読み込んで支払いができる

- ・“キャッシュレスなんて関係ないよ”と書いていても、そうもいっていら

れない時代が来る

- ・ 給与のデジタル払い。昔は現金支給、現在は口座振込 やがてデジタル給与が進み、現金より電子マネーでの支払いを優先する人もでてくる（選択できるようになる）
- ・ 「私が」ではなく「若者が」便利だなと思うものを揃える必要がある
- ・ 市民のマインドセットも重要 「沼田キャッシュレスシティ宣言」
- ・ 沼田のブランド向上  
例えば、玉原高原や吹割の滝にライブカメラをつけ配信。音も配信する。新型コロナの影響により「おこもり」が増え「癒し」のニーズが高まっている。実在する音を配信することは魅力的。
- ・ 沼田特産のブランド強化  
例えば、沼田きのこ園の「ハナビラダケ」やフリアンの「味噌パン」  
世間が欲しい情報は「違い」
- ・ ゴールは便利な街づくり DX推進は目的ではなく道具
- ・ 離れていく人を少なくするためには沼田に誇りを持てる物を作る

#### 【実行案】

- ① キャッシュレスシティの構築
  - ② 観光資源の映像・音の発信によるブランド化
  - ③ 「ハナビラダケ」「フリアンの味噌パン」などの沼田ブランド化
- ・ はじめは小さく、大規模なDX戦略。3年先、10年先の姿を考えることはやってはいけない。先のITの世界は誰もわからないから。
  - ・ 準備として人材育成。市職員が基本的な用語を知らなければベンダーと会話ができない。目利きが利く職員を確保・育成することが重要

#### 【まとめ】

- ① 若者に「沼田って便利な街だね」と言ってもらえるようにする
- ② 外の人から「あの沼田」と言ってもらえるようなブランド化を進める
- ③ 「沼田市民であることを誇り」に思ってもらえる街づくりをする

#### 【質疑応答】

委員 機械を使っていく不安感の払拭について

田村講師 中国はお年寄りもキャッシュレス。孫とつながるために覚える。

孫にお年玉をキャッシュレスであげたい。

キャッシュレスに問題があれば毎日ニュースで取り上げられている

はずだが、ほとんど聞かない。加えて法律も守ってくれる。

小さいことから始めるのが良い。孫とつながるためにキャッシュレスへ。

委員 人材育成は何から学んでいけばよいのか

田村講師 日本語力を上げること。ぼやかす内容にしない。表現力をつける。エクセルのマクロを1冊全部させると力が付く。ウェブや本で調べることでも力が付く。

～休憩～

## (5) 議題

### 【意見交換】

※詳細については別紙資料参照

事務局 デジタル利用と生活変化

会長 デジタル化とICTの違い

田村講師 流行言葉と受け止めて良い。ITや20年前はOA化などあるが基本は一緒。

会長 DXの推進は進めるしかない。沼田市の現状のデジタル化は？

事務局 国が進めている各自治体で実施している同作業のデジタル化事務のICT化は遅れているため、サービスの裏方のデジタル化を進める。デマンド交通というバスの予約の仕組みを民間と協力しながら進めている。

委員 DXは手段で沼田の良さを知ってもらう手段だが、まず沼田の良さは何かを考えなければならない。住む視点から考えると歴史的建造物があるから住むかといったら住まない。もう少し違う視点で考えていた方が良い。

委員 自然のライブカメラ配信は良い案。他にコロナ下の中で何かできるものはないか？

田村講師 沼田の良い所を考えるのは良いこと。住んでいる方は気付いていないことがたくさんある。情報発信する道具が必要。情報発信してみて反応を見ることも大切。反応を見ながら次はこんなのをしてみよう！となる。最初は市が委託した業者がコンテンツを発信するが、次第に市民が発信するようになり、反応を見ながら別の角度から発信を繰り返していく。今まで見えなかったことが見え

てくる。市役所の中にDXチーム、タスクフォースのような組織を立ち上げ、知識を得た上で予算をつけてみるなど。

委員 若者の需要を探り、沼田市の強みをマッチングして、合ったものに力を入れていく。例えば、ラベンダーパークでリモートワークなど。マッチング作業が重要だと考える。

田村講師 高崎の高校生と沼田の高校生の違い。高崎の高校生は学校帰りにスターバックスに行ったり時間を過ごす場所がたくさんある。沼田はお茶する場所がない。高校生の話を聞くのは大切。

会長 先ほど田村先生からご提案いただいた内容を基本に、それ以外も意見を取り入れ進めていきたい。

委員 若者に発信した情報が伝わっているか？コロナの状況もわかっているのか伝わっていないのかもわからない。自分の子どもはテレビを持っておらずスマホだけ。自分に必要な情報は入ってくるが、それ以外は入ってこない。沼田の若者はフリアンのパンを食べているのか？沼田市民はどうか？若者に伝わるのか？

田村講師 ずばりSNSを活用する以外ない。地元の若者に伝えるより、プロのインフルエンサーに投稿を依頼するなど、ずるいと感じるかもしれないが、マーケティングの手法。お金は発生するがインフルエンサーに発信してもらうことにより、口コミとして広がる。SNSを発信して依頼するだけでなく、反応などの分析作業が効果的。

委員 SNSはたくさんあるが、Twitterとか何が良いか？

田村講師 InstagramとTwitter、Facebook 市が依頼した内容の発信ではなく、本人が自由に発信してもらう。内部で確認を受けているうちに時間が経過して刺さらない内容となってしまう。その後の分析が重要。そこから新しい発見が出てくる。

委員 SNSで発信しても若者に届いていない。何か具体的にいい方法があれば。

田村講師 まずは分析。沼田に関係する人を探し、沼田について取り上げてもらえるのが難しい場合は広告担当条件をもらいインフルエンサーを紹介してもらうなど

委員 去年も人口問題について提言したが難しい問題。今年は具体的な目標を決めて具体的にDXに的を絞る。良い事でも言うのは簡単

だが、技術的な話になるとできないことも多い。全てではなく絞り込んで実施していただきたい。

沼田は自然災害に対して心配が少ない。やはり沼田の自然はいいという自負がある。先生が言われたような手法で沼田の良いことは出せることから、これまでとは違ったセッションを考えないといけない。

会 長 大きな意見をいくつか出していただき進めていきたい。

委 員 「沼田って便利な街だね」と住む人にとっても便利であり、外から来る人にとっても便利であるように2面的に取り組まなければならない。新型コロナを先取りする良い機会。リモートワークの環境整備など。小学生からパソコンが1人1台持つ時代。小中学校に専門の指導者を置くなど取り組めば良い。

田村講師 改革は難しいが良い意見が出た。まとめていただき次回から議論を続けていただきたい。

会 長 先生から提案いただいた内容と本日皆さんからいただいた内容の論点を整理してから提言に向かって議論を進めたい。

## (6) その他

- ・ 次回の会議日程について

< 第3回 > 10月5日(火)